

**■授業の目的及び到達目標**

教育・発達心理学Ⅱは、「発達心理学」を中心に行います。児童生徒の理解に必要な発達心理学について学び、より良い教育者になることを目指します。到達目標は、教員採用試験に対応できる発達心理学の知識を身につけることと、教員としての態度やプレゼンテーション力を身につけることです。

■授業計画

- 1 第1章 身体と運動機能の発達
人間の運動機能の特殊性、身体発達における個人差と性差、身体・運動機能の発達と精神発達等について学びます。
- 2 第2章 知覚の発達
知覚とは、ものを見る仕組み、ものを聞く仕組み、知覚発達について学びます。
- 3 第3章 記憶能力の発達
記憶の仕組み、記憶の促進に関わる主な要因、乳児期の記憶の発達、幼児期の記憶の発達、老年期の記憶について学びます。
- 4 第4章 言語の発達・小テスト①
話し言葉の起源、前言語期、話し言葉期、書き言葉期、発声に関する障害について学びます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 5 第5章 思考の発達
ピアジェの認知発達理論、言語と思考、創造的思考、文明と思考について学びます。
- 6 第6章 知能の発達
知能の概念、知能の測定、新しい知能研究の流れ、知能の測定要因、知能の発達、知能の両極性について学びます。
- 7 第7章 自己の発達・小テスト②
自己とは、自己の存在への気づき、自己認知の過程と展開、比較による自己と自己認識の深まり、自己認識の深まりとアイデンティティの確立等について学びます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 8 第8章 社会性と情緒の発達
子どもと情緒・感情：「今ここ」の気持ち、社会的な存在としてのヒト、社会性と社会化、情緒と社会化、社会化の担い手、向社会性：自己犠牲の感情について学びます。
- 9 第9・10章 発達心理学の誕生と発展・方法
児童心理学から発達心理学、近代心理学から発達心理学等について学びます。そして、科学的研究と研究倫理の必要性、発達研究の方法、発達研究のデザインについて学びます。
- 10 第11章 発達の理論
発達とは何か、発達段階、発達の理論について重要なものを整理して学びます。
- 11 第12章 発達と障害
発達障害とは何か、主な発達障害とその特性、障害児者の発達支援とその視点について学びます。
- 12 第13章 遺伝と環境：相互作用性・小テスト③
遺伝と環境の発達への寄与、言語獲得における相互作用、知能の伸びにみる相互作用について学びます。小テスト及びフィードバックとしての振り返り。
- 13 学期試験及びフィードバックとしての解説
発達心理学の理解を問う学期試験を行い、フィードバックとしての解説を行います。

■授業の方法

基本的には、教科書のテーマに沿って講義を行います。毎回の講義資料は事前に Blackboard に掲載します。そして、授業項目に関して、各学生が興味をもった内容について発表することを求めます。

■予習・復習

予習は、教科書の学習予定の章を事前に読んで、自分の考えをまとめておくこと。また、復習では、学習した章を再読し、ノートや Blackboard の講義資料を見直して、重要項目をまとめておくことと記憶が定着します。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

成績評価は、学期試験 40%、小テスト 30%、授業参加度及び発表内容 30% の割合で評価します。授業への積極的なコメントを重視します。なお、欠席日数が 1/3 を超える場合は単位を与えられません。

■教科書・参考書

教科書：発達心理学 福本俊・西村純一 編 ナカニシヤ出版

参考書：やさしい発達心理学 都築学 編 ナカニシヤ出版

■関連する科目

臨床心理学、学校心理学、教育心理学等、心理学の領域は相互に関連します。